

使いこなすためのノウハウ満載の解説本

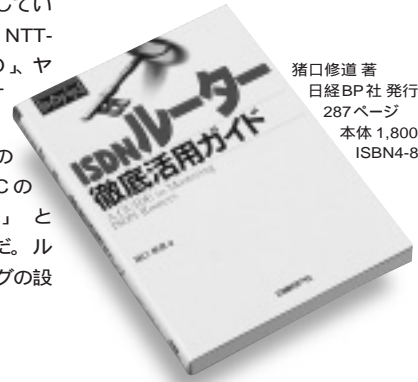
『ISDNルーター 徹底活用ガイド』

1998年の後半にメーカー各社はダイヤルアップルーターの最新機種を次々に投入した。モデムはパソコン購入時のオマケとして扱われ、TAはモデムと変わらない価格で販売されている。ダイヤルアップルーターでさえも普及機は3万円から4万円で売られるようになった。周りでもダイヤルアップルーターを購入した人や購入を考える人が増えている。すると、どの製品がいいのかをよく尋ねられる。カタログなどを見ても基本ス

ペックはどれも横並びで特徴が分かりにくいから、パソコンを購入するようにはいかないらしい。

この本はダイヤルアップルーターのメインの機能であるルーティングを中心に据えて、代表的な製品7機種を比較して解説している。取りあげている製品は、NTT-TE東京の「MN128-SOHO」、ヤマハの「RTA50i」と「RT80i」、古河電工の「MUCHO-TL」、富士通の「NetVehicle-fx3」、NECの「Comstarz Router DS」と「Comstarz Router D2」だ。ルーティングやフィルタリングの設

定についても詳しく書かれているので、該当機種のユーザーは参考になるはずだ。ウィンドウズユーザー向けに書いてはあるが、機種に依存する箇所は少ないのでマックユーザーでも読みこなせる。



猪口修道 著
日経BP社 発行
287ページ
本体 1,800円 + 税
ISBN4-8222-9098-0



ダイヤルアップルーターを使いこなす

菊地宏明 Hiroaki Kikuchi

近未来の社会構造を知るための提言集

『未来地球からのメール』

エスター・ダイソン 著 /
吉岡正晴 訳
株式会社集英社
479ページ
本体 2,800円 + 税
ISBN4-08-
773294-0



を図る方針を示している。このようなニュースを見て、これからどんなことが起きるのか不安になる人は本書を読んでみてほしい。コンピュータ業界のニューズレターの発行者である著者が、近い未来に起こりつつあることや現在起こり始めていることを書いた本だ。たとえば9章の「匿名性」や10章の「セキュリティ」などはこの問題に関するような内容に触れているし、8章の「プライバシー」にも関係してくるのかもしれない。

また、去年後半にはMP3 (MPEG 1 Audio Layer 3) フォーマットがもたらす音楽の著作権侵害のニュースも度々話題に上った。6章の「知的財産」ではウェブコンテンツの著作権は現状を保っていくのかがどうかを考察しており、このニュースとダブった。本書の邦題は『未来地球からのメール』なのだが、決して遠い話ではなく、来月にも起こりうる内容ばかりだ。

昨年、郵政省がスパムメールなどの迷惑情報の発信者を特定する対策に乗り出すというニュースが流れた。これは電気通信サービスの不適正利用にかかわる発信者情報の開示について (<http://www.mpt.go.jp/pressrelease/japanese/tsusin/981127j501.html>) 郵政省の研究会でまとめているということを書いており、その素案では、公的な第三者機関が発信者を特定して被害者からの苦情の効果的な解決

文庫サイズのURLインデックス集

『NET PAL'99』

インターネットで何かの情報を探すときは、検索サービスのディレクトリー検索が便利だ。カテゴリー別に分けられたインデックスを選択していくと目的の情報に近づいていき、検索対象の候補が残っていく。ただし、あれでもない、これでもない、と寄り道を繰り返しながら情報を探していくので多少は時間がかかる。家や会社から情報を探しているならこれでもよいが、外出先でちょっと調べたいことがあるときなどはこの時間が惜しい。持ち合わせがないときにタクシーに乗ってしまった気分、なかなか目的の情報にたどり着かないと、携帯電話の通話料金とプロバイダーの利用料金のメーターが跳ね上がっていくように感じる。こんなとき、検索がオフラインでできたらいいなあとしみじみ思う。もちろん、そのような環境はなかなかないのだが、やっと見つけた。

本書は、文庫サイズのURLインデックスだ。全編1500件の情報を6つのカテゴリーに分類し、さらに150のジャンルに分けている。おすすめサイトにはアイコンが付いている。各項目はそのサイトの1行コメントとURL、タイトル、3行の解説で構成されている。これはまさに電源不要、課金なし、速い検索、高解像度、軽量、携帯性抜群の検索インデックスだ。エンジンはもちろんあなた自身だが。



木村太郎 監修
クロスメディア・
コミュニケーションズ 編
株式会社小学館 発行
350ページ
本体 600円 + 税
ISBN
4-09-416591-6

実際のモバイル体験にもとづいて書かれたノウハウ集

『旅先通信ガイドブック』

モバイルコンピューティングユーザー、通称モバイルラーが急増中だ。ポケットボードに携帯電話、サブノートパソコンにISDN公衆電話という利用風景はしばしば目にする。先日も、新宿三越デパートの店頭で待ち合わせをしていたら面白いものを発見した。ISDN公衆電話を改良した赤外線通信ができるインターフェイスを備えた公衆電話だ。

でも、どうやって使うのだろうか。公衆電話機にマニュアルがそなえてあるわけでもない。このような疑問で眠れなくなりそうな人におすすめの1冊がこの本だ。街頭で、旅先で、国内で、海外で、モバイルコンピューティングするための知識がめいめい詰まっている。どうすれば通信する回線を確保できるのか、電源はどうするのか、

回線のコンセントは海外では違うのか、変換アダプターはどこで入手できるのか。これらの実践的な情報はモバイルラーが実際に体験したところから生まれている。モデムやラインチェッカーなどのグッズの解説、基礎知識、海外での通信環境事情、国内でのさまざまなモバイル環境、主要プロバイダーの国内外のアクセスポイントリスト、通信ソフトの概要（ウィンドウズユーザー向け）などがまとめられている。モバイルコンピューティングの入門書ではないので、これから始める人向きではないが、中級モバイルラーには大変ありがたい本だろう。



旅先通信研究所 著
ソフトバンク株式会社 発行
369ページ
本体 2,500円 + 税
ISBN4-7973-0527-4



XML/SGML サロン 著
株式会社技術評論社 発行
354ページ
本体 2,280円 + 税
ISBN4-7741-0584-8

XML1.0勧告に基づいて書かれた解説書

『標準XML完全解説』

先日、マルチメディアソフトで有名なマクロメディア社のホームページ作成ソフト「Dreamweaver」の最新版を触ってみた。ダイナミックHTML、カスタマイズスタイルシートのサポートなどは当たりまえで、なんとXMLまでサポートしている。「ほほう、時代は個人ホームページ作成者もXMLを扱うようになりつつあるのだなあ」と感慨深い思いを抱いた。しかし、XMLについてはあまり知られておらず、書店のコンピュータ関連書籍コーナーの隅に1、2冊置かれている程度だ。これで使い始めるユーザーはいるのだろうか。これまでXMLを解説した読みやすい本はなかなかなく、どれも開発

者向けの解説本になっていた。しかし、本書は図版や例題を多く取り入れて分かりやすく解説して読みやすい。込み入った解説はコラムとしているので、本文は比較的容易に理解できる内容にまとめられている。XMLの規格は現在も更新されているが、本書では1998年2月のXML1.0勧告に基づいて書かれている。また、XMLのリンク機能（XLink、XPointer）、XSL、CSS2については、98年3月までの仕様とドラフト、提案に基づいている。1年ほど前の情報ではあるが、はじめてXMLに触れて概要を把握したいのならば問題はない。この本を読んでからインターネットマガジンのバックナンバーを読めばXMLの情報通だ。

開発者自らが書いた解説本

『MN128-SOHO 100%活用ガイド SL10対応版』

自分で書いた本を紹介するのは少々照れるが、拙書は低価格ダイヤルアップルーターの先駆けであるMN128-SOHOと最新のSL10を徹底的に使いこなすための解説本だ。特に一度購入したら使い込んで購入資金の元を取らなければ気がすまない人におすすめする。

アナログ機器を取り付けて使いこなす、TAとして使いこなす、ISDNダイヤルアップルーターとし

て使いこなす、ウィンドウズで使いこなす、マックで使いこなす、OCNルーターとして使いこなす、発信者番号通知を利用したCTIアプリケーションを使いこなす、セキュリティーの高いVPN接続機能を使いこなすなど、1台で何度も美味しい製品を味わいつくせるようになっている。それぞれの機能の解説は設定の容易なもの以外にATコマンドや電話機からの設定なども記されているので、パソコンが使えない状態でもアナログ関係の設定を変更するという技術も習得できるだろう。

リファレンスのATコマンド集やLCDメッセージの解説も使える。MN128-SOHOの横に置いておくとも便利だろう。著者である私が言うのもなんだが、有益な情報が盛りだくさんの秘密はもう1人の著者である有田氏がMN128-SOHOの開発担当であることに尽きる。ほかの製品も開発者自らが使いこなす解説本を出したら面白くなるに違いない。



有田浩之 / 菊地宏明 著
株式会社技術評論社 発行
303ページ
本体 2,180円 + 税
ISBN4-7741-0665-8



[インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

株式会社インプレスR&D

All-in-One INTERNET magazine 編集部

im-info@impress.co.jp